

人身事故を1人でも1件でも減らすためにできること 10箇条！！

（R7.11.10改訂版）

今年度はクマの目撃件数が過去最多となっており、人身事故も県内で20件（11月10日現在）発生しています。
10箇条の第1版を9月に作成しましたが、その後発生した人身事故なども踏まえ、内容を一部改訂し、イラストも追加しました。
一人一人が普段の生活から気をつけることで、人身事故の発生を減らすことができます。御協力をお願いいたします。

①河川敷や川沿いの道路に気をつけましょう

河川敷がクマの移動ルートや潜み場所になっています。ヤブなどで見通せない河川敷や堤防沿いの道路には、昼夜を問わず絶対に近づかないでください。また、河川敷につながる林やヤブも里地に出没するためのルートになっています。河川との位置関係を考え、隣接する農地などの出入りの際にも十分注意してください。河川敷の近くにお住まいの方は、カキなどの果樹木に誘引されて敷地内に侵入してくることもあります。

②今年のキノコ狩りはハイリスク

今秋のキノコ狩りはリスクが非常に高く、たとえ鈴などを携行していても命がけになります。注意してください。また行方不明者の救助や捜索隊の二次事故も発生しています。

③住宅の敷地内にもクマが侵入しています！

住宅や敷地内で物音がしても、不用意に外に出たり、窓を開けて確認したりしないようにしてください。
また、敷地内に足跡や立木についた爪痕、草を分けたような跡、糞などの痕跡がないか定期的に確認してください。
駐車場での事故も発生しています。車に近づく前に、周辺に潜んでいないか注意するとともに、パンパンと手を叩いてクマに存在を知らせるなどしてください。

④市街地出沒したクマがコンビニやスーパー、学校などに侵入する事故が起こっています

市街地に出沒したクマはパニック状態になり、通りかかった人をいきなり背後から襲ったり、また自動車と衝突したり、空や自分の姿が映っている大きなガラス扉に突進したり、危険な状態になります。私たち人間も透明なガラス扉に気づかずにぶつかって、気まずい思いをしたことがあるかと思います。県内でも高齢者施設のガラス戸を破って、クマが室内に侵入するという事故が発生しています。また、自動扉が開いてしまい、クマがスーパーやコンビニ内に侵入してしまったという事故も起こっています。

⑤クマの誘引物に注意！今秋のクマはとにかく腹を空かせています

とくにカキやクリなどの未利用果樹木、ソバ畑、トウモロコシ畑などの野菜残渣、畜舎の配合飼料、鶏小屋、倉庫内の米ぬかや穀類、ペンキやグリース類などに誘引されます。

またガラス窓を割って室内に侵入する事故も発生しています。カーテンを引いたり、夜間は雨戸などを使ってください。空き家などに潜んでチャンスを伺っていることもあります。戸締りに注意してください。

⑥犬の散歩時に人身事故が発生しています

ヤブや林などで見通しの利かない場所を通るルートは極力避けてください。またヤブに覆われた小川などに架かっている橋の上も危険なことがあります。

ペットも大切な家族の一員です。鎖に繋いで飼っている場合は、クマだけではなくイノシシが襲う事故も発生しています。目撃情報が多くなってきたら、夜はなるべく屋内で飼養するか、犬小屋の周りを電気柵などで囲うようにしましょう。

また食べ残しのエサは必ず処分してください。ドングリはクマだけではなく、イノシシにとっても重要なエサになっています。今秋は、不作～凶作の地域が多いので、クマだけではなくイノシシにも注意してください。

⑦とくに日の出前、日没後には徒歩による外出を控えてください

日中でも鈴など音の出るものを携行してください。山間地では隣の家に行く際にも注意が必要です。

⑧子供たちの通学路、お年寄りの散歩コースの安全を今一度確認してください

また、校庭の周囲や自転車置き場が雑木などに囲まれている場合はクマが潜んでいる可能性が高くなります。下刈りや不要な枝を切り落とすなど見通しが利くようにしてください。

⑨野外活動でクマと出遭うリスクが高まっています

登山やハイキング、サイクリング、キャンプなどの野外活動、山間部の名所旧跡での観光、緑の多い公園での散策もリスクが高いと考えられます。最寄りの役場や警察署で周辺の出没状況を確認し、やはりリスクが高いと判断されたら中止するよう願います。

⑩山地での作業や河川敷などの草刈り時の事故に注意してください

林道の補修や高架線の点検などの山地作業時、河川敷の刈り払いや環境調査時にも事故が発生しています。今秋は複数で行動していても事故に遭う可能性が高いと考えられます。最寄りの役場や警察署で周辺の出没状況を確認し、定期的に花火を使つての追い払い、クマスプレーの携行、またリスクが高いと判断されたら中止するようお願いします。

第1条 河川敷や川沿いの道路に気をつけましょう

河川敷がクマの移動ルートや潜み場所になっています。とくにヤブなどで見通せない河川敷や堤防沿いの道路には、昼夜を問わず絶対に近づかないでください。また、河川敷につながる林やヤブも里地に出没するためのルートになっています。河川との位置関係を考え、隣接する農地などの出入りの際にも十分注意してください。河川敷の近くにお住いの方は、カキなどの果樹木に誘引されて敷地内に侵入してくることもあります。

うっかり近づく
とクマが潜んでいることが。



果実があると、川伝いにクマが来て、家から出たらクマとバツタリ出遭う事故が増えています。また他県ですが愛犬がさらわれてしまう事故も発生しました。

クマによる事故の情報

県内のクマによる人身事故件数がついに19件(11月5日現在)と過去最高を更新しています。そのうち河川とその周辺における事故が8件も発生しています。

第2条 今年のキノコ狩りはハイリスク

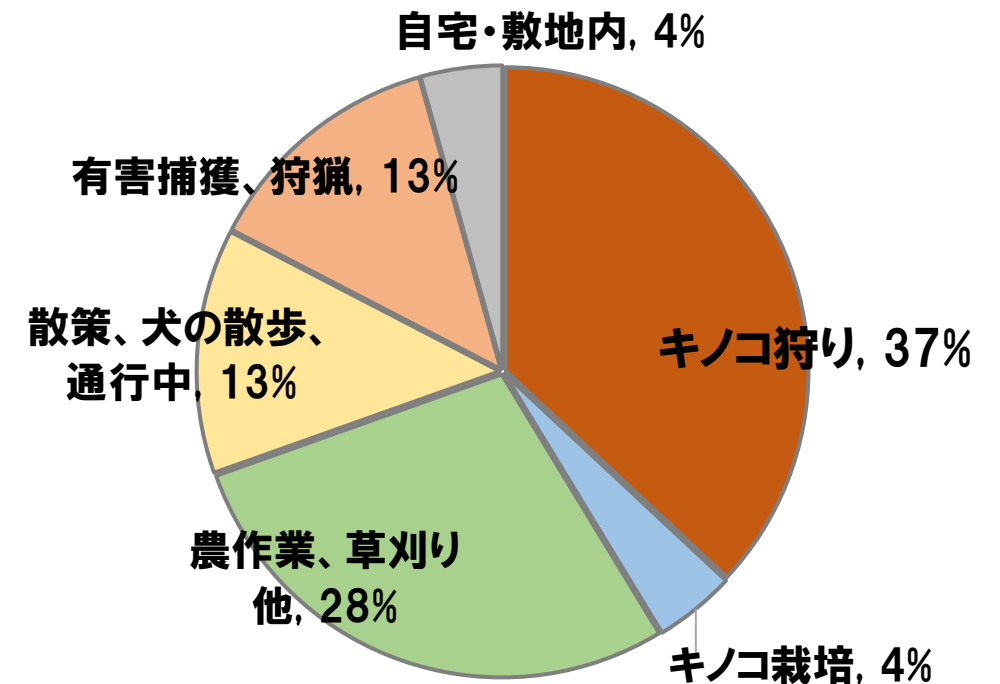
今年の秋のキノコ狩りはリスクが非常に高く、たとえ鈴などを携行していても**命がけ**になります。注意してください。また行方不明者の救助や捜索隊の二次事故も発生しています。

皆さんが気をつけて頂いているため、現在のところ、県内でキノコ狩りによる人身事故の報告は1件だけです。引き続き注意願います。



秋季(9-12月)におけるクマ人身事故の発生状況 (福島県内 H18-R7.9.20現在 n=47件)

事故時の被害者の行動



第3条 住宅の敷地内にもクマが侵入しています！

住宅や敷地内で物音がしても、不用意に外に出たり、窓を開けて確認したりしないようにしてください。
また、敷地内に足跡や立木についた爪痕、草を分けたような跡、糞などの痕跡がないか定期的に確認してください。駐車場での事故も発生しています。車に近づく前に、周辺に潜んでいないか注意するとともに、パンパンと手を叩いてクマに存在を知らせるなどしてください。

地域の
目撃情報 !!



皆で警戒レベル
を上げる



情報は共有
しましょう

住宅地での事故の前には、ご近所
などで目撃されていることが多い

家の周囲にクマの潜み場所はありませんか



敷地内にクマの痕跡
や目撃したら、地域で
情報を共有しよう



クマの獣道

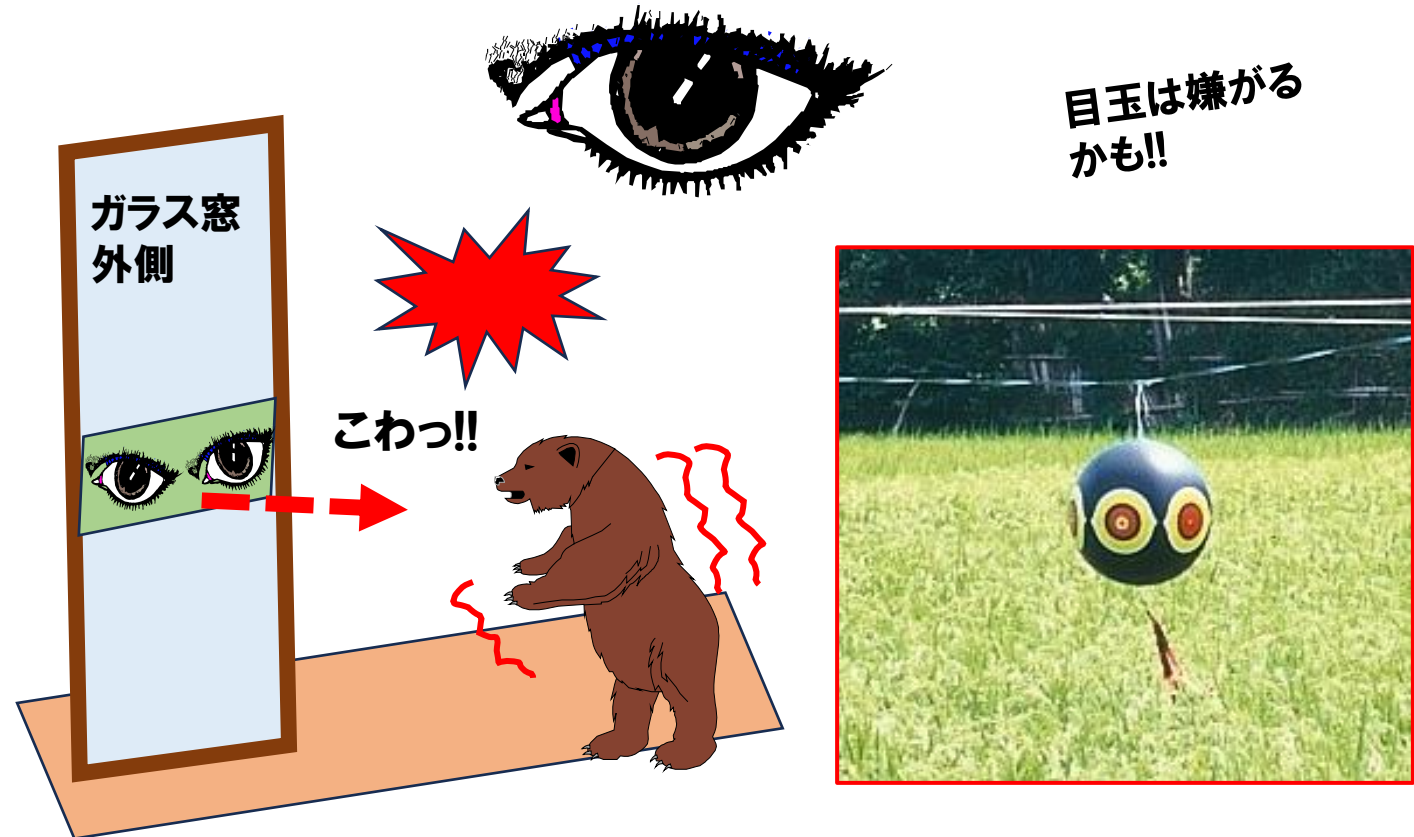
クマのうんち



第4条 市街地出没したクマがコンビニやスーパー、学校などに侵入する事故が起こっています

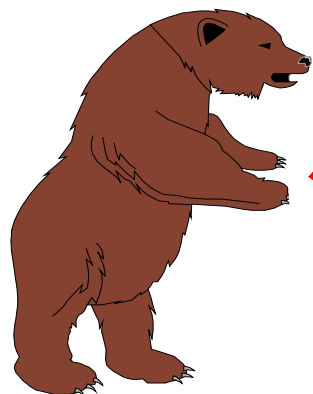
市街地に出没したクマはパニック状態になり、通りかかった人をいきなり背後から襲ったり、また自動車と衝突したり、空や自分の姿が映っている大きなガラス扉に突進したり、危険な状態になります。私たち人間も透明なガラス扉に気づかずにぶつかって、気まずい思いをしたことがあるかと思います。県内でも高齢者施設のガラス戸を破って、クマが室内に侵入するという事故が発生しています。また、自動扉が開いてしまい、クマがスーパーやコンビニ内に侵入してしまったという事故も起こっています。

●近くで目撃情報があったら、**自動ドア⇒手動ドア**に切り替えよう。また、ガラスを認識できないので、クマの目の高さにシールなどを張り付けたり、プラスチックダンボールに貼った目玉模様は有効化かも。



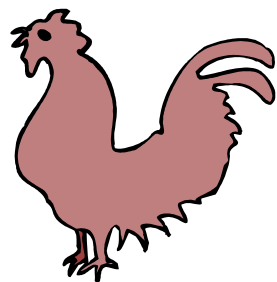
第5条 クマの誘引物に注意 !! 今秋のクマはとにかく腹を空かせています

とくにカキやクリなどの未利用果樹木、ソバ畑、トウモロコシ畑などの野菜残渣、畜舎の配合飼料、鶏小屋、倉庫内の米ぬかや穀類、ペンキやグリース類などに誘引されます。またガラス窓を割って室内に侵入する事故も発生しています。カーテンを引いたり、夜間は雨戸などを使ってください。空き家などに潜んでチャンスを伺っていることもあります。戸締りに注意してください。



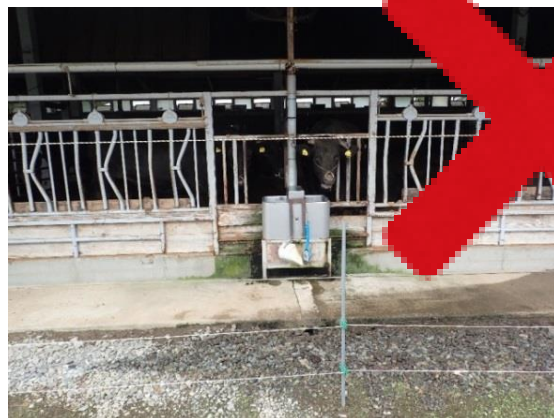
**クマの食害問題
(出没の引き金)**

クマはペンキやグリースが
大好きって知っていましたか



**畜舎侵入
(飼料)**

**倉庫、穀入れの破壊と侵入
(米ぬか、玄ソバ、玄米)**



**空き家に出入りするクマ
(とくに今年の冬はリスク↑)**

畑の農作物以外に、エサ
のメニュー(被害)を拡大
自然のエサと違って、
「何時でも食べられる!!」
ことを学習

第6条 犬の散歩時に人身事故が発生しています

ヤブや林などで見通しの利かない場所を通るルートは極力避けること。またヤブに覆われた小川などに架かっている橋の上も危険なことがあります。

ペットも大切な家族の一員です。鎖に繋いで飼っている場合は、クマだけではなくイノシシが襲う事故も発生しています。目撃情報が多くなってきたら、夜はなるべく屋内で飼養するか、犬小屋の周りを電柵などで囲うようにしましょう。また食べ残しのエサは必ず処分してください。ドングリはクマだけではなく、イノシシにとっても重要なエサになっています。今秋は、不作～凶作の地域が多いので、クマだけではなくイノシシにも注意してください。



誘引物があると、川伝いにクマが来て、家から出たらクマとバッタリ出遭うという事故が増えています。また愛犬が襲われるという事故も発生しました。



第7条 とくに日の出前、日没後には徒歩による外出を控えてください

日中でも鈴など音の出るものを携行してください。山間地では隣の家に行く際にも注意が必要です。

日の出前、日没後の
徒歩での外出は注意！



●クマは夜行性？ 昼行性？



クマや犬、猫の目が光るのは、網膜に**タペタム**という特殊な層があって（人にはありません）、暗闇でも見ることができます。

クマの生活場所は薄暗い森林の中で、行動は昼行性。でも朝や夕方の薄暗い時間帯にとくに活発に行動します。これを「**薄明薄暮性（はくめい はくぼせい）**」と言います。

また、人里に下りきて行動するときは、人との接触をさけるために**夜行性**に変わります（行動変容）。

第8条 子供たちの通学路、お年寄りの散歩コースの安全を今一度確認してください

また、校庭の周囲や自転車置き場が雑木などに囲まれている場合はクマが潜んでいる可能性が高くなります。下刈りや不要な枝を切り落とすなど見通しが利くようにしてください。



第9条 野外活動でクマと出遭うリスクが高まっています

登山やハイキング、サイクリング、キャンプなどの野外活動、山間部の名所旧跡での観光、緑の多い公園での散策もリスクが高いと考えられます。**最寄りの役場や警察署で周辺の出没状況を確認し、やはり危険と判断されたら中止するよう願います。**



今年のクマは空腹で
気が立っています。



林道でのサイクリングで、実際にクマに追
われ負傷する事故が発生しています

登山道のコースを外れるとリスクが
高くなります



生ゴミや甘い飲料水が残っているペットボトルや
空き缶はクマの誘引物。夜、トイレに行くときに要
注意。

第10条 山地での作業や河川敷などの草刈り時の事故に注意してください

林道の補修や高架線の点検などの**山地作業時**、河川敷の刈り払いや環境調査時にも事故が発生しています。今秋は複数で行動していても事故に遭う可能性が高いと考えられます。最寄りの役場や警察署で周辺の出没状況を確認し、定期的に花火を使つての追い払い、クマスプレーの携行、またリスクが高いと判断されたら中止するようお願いします。



12月初めなると冬眠のためクマが山に向かいます。
12月12日、実際に山地作業時の事故が県内で発生しました。

周りに十分注意してください。時々、ロケット花火で追い払いも。

